

# 温 泉 分 析 書 別 表

1	源 泉 名	： 笹井ホテル、共同一号井、町営3号の混合泉
2	源 泉 所 在 地	： 北海道河東郡音更町十勝川温泉北14丁目2番地40
3	温 泉 分 析 申 請 者	： 河東郡音更町十勝川温泉北11丁目2番地 <div style="text-align: right;">十勝川温泉旅館協同組合 代表理事 笹井 清志</div>
4	泉 質	： ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩泉 (弱アルカリ性低張性高温泉) (旧泉質名：含重曹-食塩泉)
5	療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。	
浴 用	禁 忌 症	急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全 出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）。
	適 応 症	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、疲労回復 慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、健康増進、虚弱児童、慢性皮膚病、慢性婦人病 きりきず、やけど。
飲 用	禁 忌 症	腎臓病、高血圧症、その他一般にむくみのあるもの。
	適 応 症	慢性消化器病、慢性便秘、糖尿病、痛風、肝臓病。
浴用、飲用の 一般的注意事項		<p><b>1 入浴の方法及び注意</b></p> <p>(1) 熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意をすること。  (2) 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分位とし、なれるにしたがって延長してもよい。  (3) 入浴中は運動浴の場合は別にして、一般には安静を守ること。  (4) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守ること。  (5) 高度の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の患者は原則として、高温浴（42℃以上）を禁忌とする。  (6) 入浴後は身体に付着した温泉成分を水で洗い流さないのがよい。ただし、「湯ただれ」を起こし易い人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分をふき取るのがよい。  (7) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。  (8) 飲酒しての入浴は特に注意すること。  (9) その他</p> <p><b>2 飲用の方法及び注意</b></p> <p>(1) 飲用の1回量は一般に100mlないし200ml程度とし、その1日量はおおむね200mlないし1,000mlまでとする。  (2) 一般には食前30分ないし1時間がよい。  (3) 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けること。  (4) その他</p> <p>◎ 温泉療養に際しては、医師の指導を受けることが望ましい  (注) この別表は、温泉法第14条による掲示に必要な参考資料となるものである。</p>
平成 19 年 1 1 月 3 0 日		
		<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: flex-end;"> <span style="margin-right: 10px;">北海道立衛生研究所長</span> </div>

# 温 泉 分 析 書

環境温泉報告書 第 1911-01

1 申請者住所氏名	北海道河東郡音更町十勝川温泉北 11 丁目 2 番地	十勝川温泉旅館協同組合 代表理事 笹井清志							
2 源泉名及び湧出地	十勝川温泉（源泉名 笹井ホテル、共同一号井、町営 3 号の混合泉） 河東郡音更町十勝川温泉北 14 丁目 2 番地 40								
3 湧出地における調査および試験成績									
(イ) 調査および試験者	株式会社環境総合科学 一関政志								
(ロ) 調査および試験年月日	平成 19 年 11 月 9 日								
(ハ) 泉 温	53.8 °C (気温: 16 °C)	(ニ) 湧出量: 840 ℓ/min (動力揚湯)							
(ホ) 知覚的試験	淡黄色澄明、無味、無臭								
(ヘ) pH 値	8.0	(ト) ラドン(Rn):							
4 試験室における試験成績									
(イ) 試験者	株式会社環境総合科学 一関政志								
(ロ) 分析終了の年月日	平成 19 年 11 月 22 日								
(ハ) 知覚的試験	淡黄色澄明、無味、無臭 (採水後 20 時間)								
(ニ) 密 度	0.9991 (20/4°C)								
(ホ) pH 値	8.03								
(ヘ) 蒸発残留物	1.418 g/kg (110°C)								
5 試料 1kg 中の成分 : 分量および組成									
(イ) 陽イオン	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)	(ロ) 陰イオン	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)		
水素イオン	H <sup>+</sup>			フッ素イオン	F <sup>-</sup>	1.3	0.07	0.3	
ナトリウムイオン	Na <sup>+</sup>	484.6	21.08	95.96	塩素イオン	Cl <sup>-</sup>	586.6	16.55	73.18
カリウムイオン	K <sup>+</sup>	9.6	0.25	1.12	水酸イオン	OH <sup>-</sup>			
アンモニウムイオン	NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>	1.2	0.07	0.30	硫化水素イオン	HS <sup>-</sup>	0.2	0.01	0.03
マグネシウムイオン	Mg <sup>2+</sup>	0.6	0.05	0.22	チオ硫酸イオン	S <sub>2</sub> O <sub>3</sub> <sup>2-</sup>	0.0	0.00	0.00
カルシウムイオン	Ca <sup>2+</sup>	10.4	0.52	2.36	硫酸イオン	SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	2.0	0.04	0.18
アルミニウムイオン	Al <sup>3+</sup>				炭酸水素イオン	HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	329.5	5.40	23.88
マンガンイオン	Mn <sup>2+</sup>				炭酸イオン	CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup>	16.2	0.54	2.39
第一鉄イオン	Fe <sup>2+</sup>	0.2	0.01	0.03	リン酸イオン	HPO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	0.4	0.01	0.04
第二鉄イオン	Fe <sup>3+</sup>	0.0	0.0	0.0					
計		506.6	21.97	100.	計		934.5	22.61	100.
(ハ)遊離成分									
非解離成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	非解離成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)				
メタ珪酸	H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub>	89.5	1.15						
メタ硼酸	HBO <sub>2</sub>	35.3	0.80						
計		124.8	1.95						
溶存物質 (ガス性のものをのぞく) 1.5659 g/kg									
溶存ガス成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	腐植質: 2.7 mg/kg						
遊離二酸化炭素	CO <sub>2</sub>	5.2	0.12						
遊離硫化水素	H <sub>2</sub> S	0.0	0.00						
計		5.24	0.12						
成分総計 1.5711 g/kg									
(ニ)その他の微量成分	銅:検出せず 鉛:検出せず カドミウム:検出せず マンガン:0.03 mg/kg アルミニウム: 0.013 mg/kg 亜鉛:検出せず 総水銀:検出せず 総ヒ素: 0.002 mg/kg								
6 泉 質	ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩泉 (弱アルカリ性低張性高温泉)								
7 禁忌症、適応症	「温泉分析表別表」中 5 に記載する。								
平成 19 年 11 月 27 日					温泉分析機関 登録番号 北海道第 4 号 株式会社環境総合科学				

